



いよいよ本格的な冬到来！街中もすっかりイルミネーションに包まれ、赤と緑のクリスマス！図書室では、クリスマス&冬の本コーナーも設置しました。コタツに入って読書…なんていかが？



クリスマスといえば、サンタクロースが良い子にプレゼントをくれる！と思っている人はたくさんいるかと思います。

では、どうしてクリスマスにサンタクロース？どうしてトナカイ？そんなあれこれにお答えしましょう！

サンタクロースの起源



4世紀、小アジア（現在のトルコ）に実在した聖人、聖ニコラウスがモデルといわれています。不幸な人々を助けるために様々な奇蹟（奇蹟者）を起こす庶民の味方として親しまれていました。貧困のために身売りをしようとした娘の家の煙突へ金貨を投げ入れ、その一家を助けたという伝説は、のちのサンタクロース・ストーリーの原型といわれています。

どうしてリリを引くのはトナカイなの？



1822年のクリスマス・イブにアメリカの詩人クレメント・ムーアが、自分の子どもたちに「クリスマスの前の夜」という詩を書きました。

物音で目を覚ましたお父さんが窓から外を見ると、サンタクロースがそりに乗って飛んできた、という詩です。このそりを引くのが8頭のトナカイだったのです。

ところで、そのトナカイに名前が付いていることを知っていましたか？

クリスマスに読みたい1冊



『世界で一番の贈りもの』

マイケル・モーパーゴ/著 評論社/刊



第一次世界大戦の初期、戦場の最前線に身を置く両軍の兵士たちが、自発的に休戦を決めた瞬間がありました。それはクリスマスイブの朝、フランス軍の塹壕から白旗が揚がることから始まります。本当は戦争などしたくない兵士たちは、クリスマスだけはと戦いをやめ、ひとときの宴を楽しみます。プレゼントを交換し合い、互いの故郷を語り合ったり、中にはサッカーの試合をしたグループもあったとか。

屋根裏のアンティーク机の引き出しに入っていた「秘密の手紙」には、それらの出来事が書かれた戦場から妻に当て書かれた手紙でした。その手紙を、当時目にするにはなかった妻に、手紙を見つけた主は届けることにしました。時を超えた亡き夫のやさしさを目にした妻は…。

8頭(?)のトナカイの名前

1. ダッシャー (Dasher)
2. ダンサー (Dancer)
3. プランサー (Prancer)
4. ヴイクセン (Vixen)
5. ドンダー (Donder)
6. ブリッツェン (Blitzen)
7. キューピッド (Cupid)
8. コメット (Comet)



みなさんおなじみの**赤鼻のトナカイ**は、その後先導役として9頭目に追加され、名前はルドルフ (Rudolph) といひます。

※こちらにも4歳の娘を喜ばせるために、お父さんが作った「ルドルフ (赤鼻のトナカイ)」というお話から来ています。

